

## 令和8年度 第1回学校運営協議会議事録

日 時：令和8年6月6日（土）14:00～16:00

場 所：大阪府立茨木高等学校 校長室

出席者：

【学校運営協議会委員】 辻野委員、白鳥委員、柴田委員、中村委員、樫本委員、藪内委員

【事務局】 塩山校長、瀬戸教頭、藤山事務長、森（登）首席、永瀬教務主任、谷口進路指導主事

<質疑応答及び提言>

### ・令和8年度学校経営計画および学校評価について

委 員：令和8年度学校経営計画の中に、年間時間外等在校時間が720時間を超える教員数を0にするとあるが、現状はどうであるか。

事務局：昨年度、720時間を超えた教員が複数名いるのが現状である。先生方と面談を行う中で、時間外在校時間が多くなっている主な要因が「授業準備」と「部活動指導」の2点であることが分かった。生徒たちが自己実現、進路実現をするために、大学から求められる資質・能力は多岐にわたる。先生方はそれらの資質・能力を生徒に身に付けさせたいとの一心で準備に長い時間をかけて授業に臨んでおられるように思う。

事務局：先生方の同僚性が非常に高いと思っている。職員室で「どのように授業をすれば生徒たちにとって分かりやすくなるか」という対話をしている姿がいつもある。対話の中での気づきを、次の授業準備に生かしている先生も多い。

委 員：教育委員会からの調査への回答などにも時間がかかっているのではないかと思っている。先生方が生徒たちと向き合う時間の確保が大事だと思う。

事務局：先生方の会話に「生徒が成長した」という言葉が自然にたくさん出てくることが茨木高校の特徴であるように思う。それは授業でも学校行事でも部活動でも、生徒たちが何かを「乗り越える」姿を先生たちが見ているからだと思う。

委 員：一般論で日本の学校でいい先生になるためには、いい家庭人であることといい地域住民であることを放棄しないとけないというような言葉が聞かれる。とても悲しいこと。人も限られて、仕事も増えていく時代なので、トータルバランスを早め早めにマネジメントできたらいいと思う。

### ・令和7年度の取組みについて

委 員：昨年度の進路状況について、特徴的なことがあれば教えてほしい。

事務局：生徒が行きたいと思う進路先に進学したという特徴がある。教員も生徒の考えを尊重し、進路実現にむけて伴走している。「模試の成績がこうだから」や「こちらの大学のほうが安全だから」といった指導は、茨木高校にはなじまないと思う。その結果、浪人を選ぶ生徒が一定数いるという結果になる。茨木高校としては、生徒が行きたいと思う進路先に進学できるように教員が寄り添っていくということが大事にされるべきことだと思う。

委 員：英語イメージングプログラムをやめることについて教えてほしい。

事務局：ネイティブの教員は複数在籍しているが、それ以外の先生の中でも、授業をオールイングリッシュで行っている先生もいる。授業の中で生徒が英語を使ってディベートを行っているなど、日常的に生徒が英語を使用している場面もたくさんある。また教員も学校内外の研修に参加するなど、授業力向上に努めている。このように教員全体の指導力向上が図られている環境があるなか、英語イマージョンプログラムについては発展的解消をしても大丈夫であると考えられるし、むしろ今以上に教員全員の授業力向上を図っていきながら希望する生徒だけではなく全員に同じ教育を行うというのが基本的な考え方となっている。

委員：探究学習についてお伺いしたい。現在自分が所属している学会でも探究学習について話題になっている。学校をこえて探究学習の進め方や探究の成果を共有する場があるのか。

事務局：探究学習の指導方法にかかわるスキルの共有は、これからと感じている。他の学校の見学をさせてもらうことはあるが、学校によって指導方法はいろいろある。学校によって生徒の特徴は異なるから、学校によって探究学習の進め方は異なるのだと思う。前回の運営協議会でもご説明させていただいた通り、本校の特徴は伴走型アドバイザーの存在である。1年間を通して、生徒の探究に寄り添い伴走するからこそ、生徒が探究に行き詰ったときに適切なアドバイスをしてくださる。結果として、生徒がより考えを深めることができることにつながっているように思う。

委員：昨年度の取組みを聞かせていただいて、子どもたちがたくさん経験できる様々な仕掛けをしてきていることが分かった。子供たちの自尊感情を育成することに学校は力を入れてくれていることが分かった一方、自尊感情を持ってない子どもたちへの見守りをお願いしたい。

事務局：週に1回程度係の先生が集まり、学年を超えて生徒の情報を共有している。できるだけたくさんの教員が生徒に関わっていくことが大事である。それぞれの生徒に合わせた支援や寄り添いの方法について意見を交わしている。

- ・令和8年度教科書採択について
- ・高等学校教育改革組織事業について
- ・次回運営協議会日程について